

# 実情を反映した保険医療計画に

## 厚生文化常任委員会で質問



2007年12月23日  
第19号  
発行  
日本共産党県議会議員  
渡辺ゆり子  
〈連絡先〉  
日本共産党県議団執務室  
電話 023-630-3241  
自宅:山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365

### 多くの関係者の声の反映を

11日開かれた厚生文化常任委員会で、今年度中の策定をめざして作業が進められている第5次山形県保健医療計画について取りあげました。

私は「各県が、入院期間短縮など数値目標を含む計画を作成することになっている。国の医療費抑制策のもとで、各県がその競いあいになるのではないか？山形県は全国でも低い医療費となっており、実態を反映した計画にすべきではないか」と質問しました。

仁科義英健康福祉企画課長は「確かに国の方針に基づく多くの数値目標が設定されるが、目標自体は本県の実情を十分反映させていきたい」と答えました。



### ゆり子の視点

#### 原油高騰に怒る

灯油やガソリンが高く、多くの方が節約し、産業にも大きな影響を及ぼしています。

日本共産党は、国、県、市町村それぞれの段階で対策を求めて奮闘中です。

しかし、この原油高の様々な要因のひとつにマネー投機があげられます。国民生活に関わる重要な問題です。国際的なルール確立をはじめ、国の積極的な政策が求められていると考えます。

### 75歳以上の「後期高齢者医療制度見直しを求める」請願

#### 厚生文化常任委員会で継続審議

県社会保険推進協議会（高木紘一会長）より提出されていた請願について、引き続き審議となりまし。08年4月制度実施と医療につながる点などを指摘して採択を主張しました。知られるにつれて批判が

したが、他委員より推移を拡大、福島県議会、岩手県議会などで国に見直しを求める請願採択、意見書提出となっています。

### 県として農業守る姿勢を

#### 県農民連要請に同席

13日、山形県農民連（遠藤重輔会長）が、米価下落に政府のさらなる対策を求める県への要請を行い、日本共産党県議団も同席しました。県からは芳賀泰典生産技術課長らが応対しました。

農民連参加者からは「田んぼを安く売るところが『くれてやる』という話まで出る」「農家はこれまで精一杯努力して極限までできている。この実態を県としてぜひ国に伝え、農業を守る姿勢を示してほしい」と切実な訴えが出されました。



県農民連の要請行動に同席する党県議団=13日

